

3次選定項目案

焼却施設は、廃棄物を滞ることなく処理し、衛生的で良好な生活環境を保つために必要な施設であるため、幅広い視点からの総合評価を行い、実現可能な施設建設候補地を選定します。
評価基準・配点は、組合が比較評価を行う際に決定します。

| No | 評価項目 | 評価の考え方 | 【参考】評価基準 | 【参考】 点数 |
|-------------------|-----------------------|---|--|------------------------|
| 1. 自然環境の保全 | | | | |
| 1 | 水源、放流先の状況 | 水源からの距離が長いことが望ましい。 放流先の状況(下水道への放流、施設下流水路への放流)が良いことが望ましい。 →文献調査や現地踏査により評価する。 | 水源、放流先の状況とも良好である。 水源又は放流先の状況に懸念される事項がある。 水源、放流先の状況ともに懸念される事項がある。 | 5点 3点 1点 |
| 2 | 植生自然度 | 現状の自然を開発することなく、施設を整備することが望ましい。 →候補地内で最も範囲が広い植生自然度を評価する。 | 候補地内の植生自然度:1~6 候補地内の植生自然度:7~8 候補地内の植生自然度:9~10 | 5点 3点 1点 |
| 3 | 希少動植物 | 希少動植物への影響がない地域が望ましい。 →レッドデータブック(絶滅の恐れがある動植物を記載した書籍)への記載内容を評価する。 | 希少動植物への影響は考えられない。 希少動植物への影響は考えられるが、最新の技術の採用により克服可能である。 希少動植物への影響は考えられ、最新の技術を採用しても克服は難しい。 | 5点 3点 1点 |
| 4 | その他自然環境に影響を及ぼす可能性 | 上記項目(No1からNo3)以外で、その他自然環境に影響を及ぼす可能性がない地域が望ましい。 →文献調査や現地踏査により、その他自然環境に影響を及ぼす可能性の有無を評価する。 | その他自然環境に影響を及ぼす可能性は考えられない 1項目について、その他自然環境に影響を及ぼす可能性が考えられる 2項目以上について、その他自然環境に影響を及ぼす可能性が考えられる | 5点 3点 1点 |
| 2. 土地利用 | | | | |
| 5 | 現況土地利用状況 | 現況の土地利用方法について、特段の利用はされていない地域が望ましい。 →文献調査や現地踏査により、現況土地利用状況を評価する。 | 特段の利用はされていない。 一部農地等として利用されている。 農地等として利用されている。 | 5点 3点 1点 |
| 6 | 地形・地質 | 地形はできるだけ平坦であることが望ましい。 地質は、できるだけ強固であることが望ましい。 →文献調査や現地踏査により、施設建設にあたり安全性、施工性等の観点から評価する。 | 懸念される事項はない。 地形、地質の一部に懸念される事項がある。 地形及び地質に懸念される事項がある。 | 5点 3点 1点 |
| 7 | 地歴 | 過去に工場や処理場等の建設履歴等がなく、埋設物や土壌汚染等の可能性が低いことが望ましい。 →地歴調査により評価する。 | 懸念される事項はない。 敷地の一部に懸念される事項がある。 敷地の大部分に懸念される事項がある。 | 5点 3点 1点 |
| 8 | 将来的な整備の可能性 (土地の拡大) | 将来的に、焼却施設以外を整備できる敷地の確保可能なことが望ましい。 →抽出した面積において、どの施設が整備可能かを検討し評価する。 | 中間処理施設(リサイクルセンター等)、最終処分場を整備する面積がある。 最終処分場を整備する面積がある。 中間処理施設(リサイクルセンター等)を整備する面積がある。 | 5点 3点 1点 |

| No | 評価項目 | 評価の考え方 | 【参考】評価基準 | 【参考】点数 |
|-------------------|------------------------------|--|--|----------------|
| 9 | その他 (地下埋設物) | 施設建設において、地下埋設物の影響がないことが望ましい。 →敷設図から、抽出された土地の通過状況の評価する。 | 地下埋設物が通過していない。 地下埋設物が通過しているが、施工に影響はない。 地下埋設物が通過しており、施工に影響がある、あるいは敷設替えが必要とな | 5点 3点 1点 |
| 3. 防災面 | | | | |
| 10 | 活断層からの距離 | 活断層からの距離が長いことが望ましい。 →それぞれの距離を算出し、最長距離と最短距離の中で各候補地がどこに位置付けられているかで評価する。 | 相対的に長い 相対的に中間 相対的に短い | 5点 3点 1点 |
| 11 | 水害想定 | 河川からの距離が長いことが望ましい。 →文献調査により評価する。 | 相対的に長い 相対的に中間 相対的に短い | 5点 3点 1点 |
| 4. 周辺環境の保全 | | | | |
| 12 | 候補地中心から組合構成以外の自治体までの距離 | 候補地中心から組合構成以外の自治体までの距離が長いことが望ましい。 →それぞれの距離を算出し、最長距離と最短距離の中で各候補地がどこに位置付けられているかで評価する。 | 相対的に長い 相対的に中間 相対的に短い | 5点 3点 1点 |
| 13 | 候補地中心から文化・教育・福祉・医療・保健施設までの距離 | 候補地の端から文化・教育・福祉・医療・保健施設までの距離が長いことが望ましい。 →それぞれの距離を算出し、最長距離と最短距離の中で各候補地がどこに位置付けられているかで評価する。 | 相対的に長い 相対的に中間 相対的に短い | 5点 3点 1点 |
| 14 | 候補地中心から文化・教育・福祉・医療・保健施設の件数 | 候補地中心から一定距離にある範囲内にある文化・教育・福祉・医療・保健施設の件数が少ないことが望ましい。 →一定距離(例:1,000m)の範囲円の中にある上記施設等の数を算出する。その最大件数と最小件数の中で各候補地がどこに位置付けられているかで評価する。 | 相対的に少ない 相対的に中間 相対的に多い | 5点 3点 1点 |
| 15 | 同一路線への車両集中 | 収集車が施設へ搬入する際に、同一路線ではなく、複数の路線からアクセスすることが望ましい。 →周辺道路状況から、同一路線への車両集中の可能性を評価する。 | 3方向以上からの搬入となり、車両集中が少ない。 2方向からの搬入となり、車両集中がやや懸念される。 1方向からの搬入となり、車両集中が懸念される。 | 5点 3点 1点 |
| 16 | 緩衝帯として防風林、河川等が利用可能な地域 | 周辺地区との緩衝帯として、防風林、河川等が利用可能な地域が望ましい。 →文献調査や現地踏査により利用可能な地域を評価する。 | 緩衝帯として2面以上が利用可能である。 緩衝帯として1面が利用可能である。 緩衝帯として利用可能な面が1面もない。 | 5点 3点 1点 |
| 17 | 観光地 | 観光地からの距離が長いことが望ましい。 →観光地は、温泉、道の駅とし、候補地の中心からの距離で評価する。 | 2キロ以上 1キロ以上2キロ未満 1キロ未満 | 5点 3点 1点 |

| No | 評価項目 | 評価の考え方 | 【参考】評価基準 | 【参考】点数 |
|----------------|-----------------------------|---|---|----------------------|
| 18 | 日照障害等の影響 | 施設が建設されても日照障害等の影響がないことが望ましい。 →仮想配置により、日照障害による影響度を評価する。 | 影響はほぼない。 一部地域に影響が考えられる。 多くの地域に影響が考えられる。 | 5点 3点 1点 |
| 19 | 埋蔵文化財との距離 | 埋蔵文化財からの距離が長いことが望ましい。 →埋蔵文化財と各候補地の最短距離を計測し、評価する。 | 2キロ以上 1キロ以上2キロ未満 1キロ未満 | 5点 3点 1点 |
| 5. 社会条件 | | | | |
| 21 | 収集運搬費用の各市町におけるバランス | 収集運搬費用の各市町におけるバランスが確保できることが望ましいため、1次選定で評価しているが、相対評価を行う。 →候補地が所属するメッシュについてそれぞれの距離を算出し、最長距離と最短距離の中で各候補地がどこに位置付けられているかで評価する。 | 上位(少ない) 中位(中間) 下位(多い) | 5点 3点 1点 |
| 22 | インフラ整備状況(上水、電気) | 候補地周辺のインフラ整備状況が良好であることが望ましい。 →候補地周辺のインフラのうち、特に重要な上水及び電気について評価する(下水についてはNo1で評価)。 →上水はφ70mm以上、電気は高圧受電を必要とするため、これを最高点とする。 | 上水及び電気の整備状況が優れている。 上水又は電気の整備状況が優れている。 上水及び電気の整備状況ともに劣る。 | 5点 3点 1点 |
| 23 | 騒音、振動、悪臭規制 | 騒音、振動、悪臭に係る規制がかけられていないことが望ましい。 →候補地における騒音、振動、悪臭規制状況を評価する。 | 騒音、振動、悪臭いずれも規制がかけられていない。 1項目あるいは2項目の規制がかけられている。 騒音、振動、悪臭いずれも規制がかけられている。 | 5点 3点 1点 |
| 6. 合意形成 | | | | |
| 24 | 土地の取得及び建設同意の取得等についての可能性 | 土地の取得及び建設同意の取得等についての可能性が高いことが望ましい。 →候補地における地権者数について、その最大数と最小数の中で各候補地がどこに位置付けられているかで評価する。 | 相対的に少ない 相対的に中間 相対的に多い | 5点 3点 1点 |
| 7. 経済性 | | | | |
| 25 | 収集運搬効率及び経済性(収集車による二酸化炭素排出量) | 収集運搬効率がよく経済性に優れることが望ましい。 →候補地が所属するメッシュについてそれぞれの金額を算出し、以下の式で点数をつける。 候補地の点数=5点×最安地÷当該地(四捨五入して整数化) | 収集運搬総コストが最も安価である。 収集運搬総コストが2番目以降である。 | 5点 5点×最安地/ 当該地 |
| 26 | 事業費(用地費、造成費、施設建設費、維持管理費) | 事業費(用地費、造成費、施設建設費、維持管理費、道路設置費、インフラ整備費等)がよく経済性に優れることが望ましい。 →それぞれの金額を算出し、以下の式で点数をつける。 候補地の点数=5点×最安地÷当該地(四捨五入して整数化) →なお、施設建設費及び維持管理費は同額とする。 | 事業費が最も安価である。 事業費が2番目以降である。 | 5点 5点×最安地/ 当該地 |